

【総括概要】

「防災・減災対策」「子育て・教育」「移住・定住」を重点施策として予算編成を行った結果、令和2年度川辺町一般会計、特別会計及び公営企業会計を合わせた当初予算総額は86億489万2千円（対前年度比6億9,643万3千円増+8.8%）で、うち一般会計予算は51億1,100万円（対前年度比2億5,100万円増+5.2%）としています。

【一般会計予算概要】

歳入は、町税12億8,698万3千円（対前年度比2,220万4千円増+1.8%）、地方交付税15億2,000万円（対前年度比1億3,000万円増+9.4%）、国庫支出金3億4,488万7千円（対前年度比2,750万円増+8.7%）、県支出金2億8,729万4千円（対前年度比2,457万4千円増+9.4%）、町債4億9,970万円（対前年度比6,700万円増+15.5%）となっているほか、財政調整基金、ふるさと納税を原資としたまちづくり基金などから3億990万1千円を繰り入れることとしています。

歳出は、民生費14億6,472万8千円（対前年度比9,256万8千円増+6.7%）、衛生費2億5,725万円（対前年度比12万7千円増+0.1%）、土木費8億837万4千円（対前年度比1億594万7千円増+15.1%）、消防費4億8,230万3千円（対前年度比8,633万7千円増+21.8%）、公債費3億7,619万8千円（対前年度比955万2千円増+2.6%）等が増加し、総務費9億378万9千円（対前年度比485万円減△0.5%）、農林水産業費1億5,055万7千円（対前年度比167万6千円減△1.1%）、商工費4,705万8千円（対前年度比757万4千円減△13.9%）、教育費5億5,348万5千円（対前年度比2,933万2千円減△5.0%）は減少しています。

歳出の主な事業につきましては、川辺町第5次総合計画に掲げた6本の体系に沿って以下のとおりとしていますのでご参照ください。

【美しく安らぎのあるまちづくり】

発災時の支援体制を充実させるための「防災備蓄倉庫整備事業」に662万2千円、また指定避難所であるB&G海洋センターに非常用発電設備を設置するなど、「防災対策事業」に3,205万4千円を計上し災害に強いまちづくりを進めていきます。また、昨年度に引き続き防災情報の通信手段である防災行政無線デジタル化のための「防災行政無線更新事業」に2億2,012万円を計上しています。

日常生活の安心安全の確保において、防犯意識の向上・犯罪抑止を目的として町内に防犯カメラを設置する「生活安全推進事業」に989万2千円を計上しています。

【誰もが安心して暮らせるまちづくり】

現在4台にて運行している福祉バスのうち老朽化している1台について、新たに29人乗りマイクロバスに買い換える「福祉バス購入事業」に901万5千円を計上しています。また、障がい福祉サービスや各種支援の円滑な提供を目的とし、障がい福祉計画及び障がい児福祉計画を策定するため、「障がい福祉計画等策定事業」に194万1千円を計上しています。

こども園の施設整備では第3こども園の空調設備改修を実施するため「こども園施設整備改修事業」に6,706万6千円を計上しています。

その他、医療費負担を軽減するための「福祉医療助成事業」に1億1,292万8千円、令和元年度より実施箇所を増設した放課後児童クラブも引き続き「児童クラブ運営事業」に3,683万7千円を計上し、実施します。

【みんなで学び合うまちづくり】

小中学校の施設整備では「小学校施設設備整備改修事業」に1,366万8千円、「中学校施設設備整備改修事業」に1,744万4千円を計上し、小中学校放送設備や中学校倉庫の改修を行います。

また、2020年東京五輪関連では事前合宿としての誘致及び交流費用に1,121万5千円、合宿地及び練習場の環境整備に909万6千円を計上し、オリンピック参加国の事前合宿地としての誘致及びトップアスリートとの交流を実施します。

【快適に暮らすことができるまちづくり】

定住人口の増加を目指し、住宅新築・建替を助成する「川辺町定住促進助成金事業」に756万8千円、空き家の利活用を促進するため「移住定住促進事業」に749万円を計上しています。

インフラ整備においては、町道の歩道新設や通学路の安全対策、橋りょう点検など「防災安全交付金事業（国庫補助事業）」に1億5,503万円を計上しています。また雌鳥排水路に転落防止柵を設置するため「土地改良施設管理経費」に5,012万2千円を計上しています。

【新たな活力をおこすまちづくり】

観光資源の保全・発掘を目的とした「清流の国ぎふ市町村提案事業」に811万円を計上し、遠見山周辺整備を行います。また、森林環境譲与税を活用した林業の担い手育成や森林整備のため「森林経営管理事業」に518万3千円を計上しています。

農業関連においては水田防草支援、農業機械導入補助事業など「担い手育成支援事業」に711万9千円を計上しています。

【共に考え行動するまちづくり】

マイナンバーカードの取得促進に係る経費として「個人番号カード交付事業」に868万4千円を計上しています。また、令和2年は5年に1度実施される国勢調査の年であり「基幹統計調査事業」に関連費用を含め447万2千円を計上しています。観光・特産振興・町のPRとして期待するふるさと納税については、2億2千万円を歳入予算に計上。その謝礼品等に要する費用「ふるさと川辺応援事業」として1億1,159万円を計上しています。

【特別会計予算概要】

国民健康保険事業特別会計の予算総額は9億4,790万7千円（対前年度比7,969万7千円減△7.8%）で、本町における被保険者数が減少したことにより予算総額も減額となりました。

後期高齢者医療特別会計は1億4,951万6千円（対前年度比1,406万6千円増+10.4%）で、被保険者数の増加及び保険料率の改定により増額となっています。

介護保険特別会計は8億7,837万4千円（対前年度比2,635万3千円増+3.1%）で、介護認定者数は引き続き増加しており、介護サービス受給者の増加による給付費の増により予算総額も前年度に対して増額となっています。

【公営企業会計予算概要】

水道事業会計は、4億6,373万8千円（対前年度比7,995万4千円増+20.8%）で、平成28年度から15年計画で実施している「重要給水施設配水管整備事業」工事費に加え、「老朽管更新工事」の実施により増額となっています。

下水道事業及び農業集落排水事業は令和2年度より地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計に移行します。なお令和2年度予算は10億5,435万7千円となります。